

令和2年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	教育委員会生涯学習課
施設名称	43	東京都台東区立今戸社会教育館	指定管理者	JN共同事業体
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募		指定期間	H29.4.1 ~ R4.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 社会教育の振興を図るため、区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、その学習活動・組織活動を促進する。
(2)	[所在地] 台東区今戸2-26-12 [規模] 延床面積527㎡ SRC造 ホール(50名)、第1会議室(30名)、第2会議室(40名)、和室(30名)
(3)	[委託事業] ①社会教育館の管理運営 ②各種社会教育学級・講座・研修・講習会等の実施 ③社会教育に関する資料収集・情報提供 [自主事業] 地域の繋がり文化イベント、学ぶ機会を広げる講座、サークルフェスタ等実施
(4)	[利用者] 社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体。教育委員会や社会教育館が行う行事に参加する区民。その他一般団体。 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 開館日：火～日曜：午前9:00～午後10:00 月曜：午後1:00～午後10:00 休館日：国民の祝日 年末年始(12/29～1/3) 設備点検日
(6)	[人員体制] 6名 (内 訳) 館長(1) 教育担当(1) 受付・庶務(4) (前年増減) -

2. 予算決算		H30予算	H30決算	R1予算	R1決算
収入	委託料(指定管理料)	15,565,000	15,565,000	15,788,948	15,700,000
	利用料金収入	1,192,000	1,437,810	1,210,000	1,557,010
	その他収入()	0	0	0	0
	計	16,757,000	17,002,810	16,998,948	17,257,010
支出	人件費	12,020,000	12,501,334	12,131,000	13,754,343
	光熱水費	1,523,000	1,469,489	1,537,000	1,525,620
	維持管理費(委託料・賃借料)	2,192,000	2,130,008	2,212,000	2,321,000
	修繕費	108,000	169,992	109,000	0
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(交通、通信運搬、消耗品費等)	914,000	723,363	921,000	642,453
計	16,757,000	16,994,186	16,910,000	18,243,416	
収支			8,624		-986,406

3. 活動指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
年間開館日数	日	355	341	340	336
自主事業等講座	講座	16	12	13	16

4. 成果指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
利用率	%	35.0	37.0	40.3	43.1
利用人数	人	17,000	18,710	19,767	20,863

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況
報告書の数値の誤りや差し替えが減少し、適切に提出された。利用者のニーズについては、アンケートや利用者懇談会を通じて寄せられた意見に対し、細やかな対応を行い利用者満足度の向上を図った。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
19 / 20 点	事故発生時の対応マニュアルについて、内容の見直しを行い、改善を図った。事業計画書等の作成など、概ね適正な管理がなされている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	自主事業の内容や方法などを毎年見直し、区民の生涯教育・文化教養の向上等の施設目的に沿った事業を展開している、また、施設の開館や利用についても、条例に基づき適切な運営を行っている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	設備担当が突発的な事故にすぐ対応し、現場の安全確認と復旧を行っている。新型コロナウイルス感染症対策を含めた清掃・衛生管理についても適切に対応した。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	アンケートや懇談会の課題を踏まえ、階段下に人感センサーを設置し昇降にサポートが必要な方に配慮する等、サービス向上に努めた。地域の繋がりにイベントで専門店とタイアップし、身近な食材である生姜の栽培・効用を学ぶ講座等の開催が利用者満足度を高めた。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
15 / 20 点	利用料金収入は予算を上回ったが、人件費が増加したため、収支はマイナスとなった。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (93 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>警察署・消防署と連携し、地域の課題である高齢者の防犯・防災対策に取り組む等、社会教育施設の目的に沿った事業を展開している。今後は、新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、利用料金収入の増加に取り組んでいく必要がある。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>事故発生時の対応マニュアルについて、内容の見直しを行い、改善を図った。人件費が増加しており、収益を改善するための対策が必要である。</p>